

中国語の動詞“用”の日本語訳について —「使う」、「用いる」、その他—

杉村 泰

DOI: 10.18999/stul.37.93

1. はじめに

中国語の“用”には日本語の「使う」や「用いる」に相当する動詞用法と、「で」に相当する介詞(前置詞)用法とがある。このうち動詞用法は日本語で「使う」と訳されることが多いが、“用”の対象となる名詞や文脈の違いにより、「用いる」、「講じる」、「かける」、「取る」、「借りる」、「いただく」など様々な日本語に訳される。しかし、それを詳しくリストアップした辞書や単語帳は管見の限り皆無である。そこで本稿では、中国語の動詞“用”が対象や文脈の違いによって、いかなる日本語に訳されるか、さらに訳されないかを詳細に見ていく。

2. 先行研究

中国語の“用”の日本語については、従来辞書類に記載が見られるぐらいであった。呂叔湘著、牛島・菱沼監訳(1992)では、動詞の“用”には大きく分けて日本語の「使用する」の意味と「飲食する」の意味があることが記述されている。しかし、どのような場合に「使う」が使える、どのような場合に「使う」が使えないかということは記述されていない。

用 yòng

【動詞】①使用する：((付)了・着・过(重ね型))名詞の客語をともなえる。▼你～搞，我～铁锹(君はツルハシを使え，ぼくはスコップを使う) ▼买这套设备～了不少钱(この設備の購入にたくさんの金を費した) ▼你先～，我后～(君が先に使え，ぼくがあとから使う) ▼这种计算机我会～(私はこの種の計算機を使いこなせる) ▼把手推车都～上了(手押

し車はみんな出払っている) ▼这把刀子~得刀刃都没有了(この包丁は刃がすっかり減ってしまうほど使った)

② 飲食する(敬語)。▼~茶(お茶をいただく) ▼~烟(タバコを一服いただく) ▼请~饭吧(ご飯をめしあがってください)

(pp.455-456)

同様に、『中日辞典』(第2版)(2003)でも、動詞の“用”には大きく分けて日本語の「使用する」の意味と「飲食する」の意味があることが記述されている。

用 yòng

1 用いる. 使う. 使用する. ¶ 你~镐 gǎo, 我~铁锹 tiěqiāo / 君はつるはしを使え, ぼくはスコップを使う. ¶ 买这套设备 shèbèi ~了不少钱 / このプラントを買うのにたくさんの金を使った. ¶ 你先~, 我后~ / 君が先に使え, ぼくは後で使う. ¶ 电子计算机 diànzǐ jìsuànjī 我会~ / ぼくはコンピュータを使いこなせる. ¶ 把手推车 shǒutuīchē 都~上了 / カートまで使った. ¶ 这个月的电~得太多了 / 今月は電気を使いすぎた.

2 [介詞]…で…(する). (略)

3 <敬> 飲食する. 召し上がる. ¶ ~茶 / お茶を召し上がる. ¶ ~烟 / たばこを召し上がる. ¶ ~餐 / 食事をなさる. ¶ 我先~过了 / 先に食事をいただきました. ¶ → ~饭 fàn.

(p.1805)

『中日辞典』(第2版)では、この後(pp.1806-1807)に次のような“用+名詞”の例が載っており、“用”の対象の違いによって「使う」や「用いる」以外の日本語訳もあることが記述されている。しかし、この場合に「使う」や「用いる」で訳せるかどうかは不明であり、日本語学習者には物足りない記述となっている。

“用兵”(兵を用いる)、“用饭”(食事をする)、“用工”(労働者を雇う)、“用功”(一生懸命勉強する、(学習に)努力する、身を入れる、真剣である、勤しむ、取り組む)、“用工夫・用功夫”(修練を積む、時間や労力をかける)、“用劲”(力を入れる)、“用力”(力を入れる)、“用命”(命令に従う)、“用人”(人を使う、人員を任用する、(仕事に)人手がいる)、“用事”(権力を握る、感情や意地によって事を行う、典故を引用する)、“用武”(武力を用いる、戦

争をする、腕を振るう)、“用心”(気をつける、心を込める、一心に、身を入れる)、“用刑”(刑具を使って)拷問にかける)、“用印”(捺印する、押印する)

これに対し、杉村(2024)では“用”の日本語訳について、動詞用法と介詞用法に分けた上で、それぞれ後接する名詞の違いによって表1のようになることを指摘している。しかし、杉村(2024)は北京外国語大学の BCC コーパスから出現した“用”の用例について、日本語訳の可否をリストアップした段階にとどまっている。

表1 “用”の対象ごとの日本語訳
(○は使用制限の小さいもの、△は使用制限の大きいもの、*は使用しにくいもの)

対象 日本語訳	使う		用いる		で	によって	その他の訳
	動詞	介詞	動詞	介詞			
1. 道具	○	△	△	△	○	*	
2. 材料	○	△	○	△	○	*	
3. 手段・方法	△	△	○	○	△	○	講じる/(やり方)でやる
4. 表現手段	○	○	○	○	○	○	
5. 言葉	○	△	○	△	○	△	
6. 力	△	△	△	△	△	△	振り絞る/込める/入れる/力強く握る/握り締める/発揮する/尽くす/力いっぱい
7. 権力・武力	○	○	○	○	○	○	行使する
8. 薬	△	○	△	○	○	○	投与する/投薬する/服用する/投薬によって
9. 人間	△	△	△	△	△	△	登用する/起用する
10. 金銭	△	△	*	*	△	△	かける/かかる
11. 時間	△	△	*	*	△	*	かける/かかる
12. 場所	○	○	*	*	○	*	
13. 頭	○	○	*	*	○	*	
14. 魔法	○	○	*	*	○	○	
15. 手術	*	△	*	△	○	○	する/受ける
16. 行動・態度	*	*	*	*	○	○	取る/に出る
17. 努力	*	*	*	*	○	○	する
18. 心	*	*	*	*	△	*	心を配る/気を配る/気を遣う/気を付ける/注意する/心を込めて/一生懸命に/一心に/耳を澄まして/集中して/じっと
19. トイレ	△	○	*	*	○	*	に行く/に入る
相手の所有物	△	—	*	—	—	—	借りる/貸してもらう
“用餐”など	*	—	*	—	—	—	いただく/召し上がる/食事をする/飲む

そこで本稿では、杉村(2024)で挙げた 19 種類の名詞(“用”の対象)に、「電気・ガス・水」、「判子」、「命(いのち)」を加え、動詞“用”の日本語訳についてより詳しく見ていく。

3. 日本語の「使う」と「用いる」の違い

中国語の“用”は日本で「使う」または「用いる」と訳すことが多い。「使う」と「用いる」について、小学館辞典編集部(1994:131)では次のように記述されている。

使う／用いる

共通する意味 何かのために働かせたり利用したりする。英 to use

使い方の例 **【使う】**^(7五)/機械を使う/バスを使って通っている/我々は口を使って話し、足を
使って歩く/ **【用いる】**^(7上)/試合では彼の作戦を用いて圧勝した/

	鉛筆を□	新工法を□	この役には新人を□	人を□のはむずかしい	頭を□
使う	○	○	○	○	○
用いる	○	○	○	△	—

それぞれの意味と使い分け (1)「使う」は、目的を持って、物、人、考え方、手段、方法を活用する意の一般的な言い方。(2)「部下を使う」「部下を用いる」とどちらにも使える場合があるが、前者は単に働かせる意だが、後者はその人物を評価して活用する意である。(3)「用いる」には、「部下の提案を用いる」のように採用する意もある。

また、『現代国語例解辞典』(第二版)(1993)では次のように記述されている。

[つか・う 使う(遣う)^{つかう}][動五]□働かせる。用いる。「店で使ってみる」㊦あることに物を役立てる。手段、材料として用いる。「ミシンを使う」「電車を使って行く」「袖^{そで}の下を使う」㊧あやつる。思い通りに動かす。工夫して動かす。「英語をつかって話す」「魔法を使う」「人形を遣う」「気を遣う」㊨その行為、行動をする。「上目をつかう」「居留守をつかう」「行水をつかう」㊩費やす。消費する。「金を無駄に使う」「時間を使う」▼③は「遣」を用いるのが一般的だが、「魔法」などその語自身に「使い方」の意を含む語には「使」を用いる。

(p.838)

【もち・いる 用いる^{もちみる}】〔動上―〕①能力や働きを認めて使う。登用する。「ベテランを用いる」②採用する。「立案しても一向に用いられない」③使用する。「建築材として用いる」「刃物を用いる」④心を、あれこれ働かせる。「すみずみにまで意を用いる」⑤ある手段、態度をとる。使う。「奇襲戦法を用いる」

	はさみを□	部下の提案を□	人を□には苦勞が伴う	頭を□仕事	外野に新人を□
用いる	○	○	△	—	○
使う	○	—	○	○	○
使用する	○	—	○	—	—

(p.1250)

しかし、これらの記述は限定的であるし、普通はあまり「鉛筆を用いる」や「はさみを用いる」とは言わないような気がする。しかし、その説明が不十分である。

一方、田・泉原・金(1998:514)では次のように記述されている。

使う :ある目的のため、人・物などを労働力・手段・消費財として役立てる。

用いる :その人・物の才能・能力・機能・性能などを、フルに生かして使う。

置換 置き換え不能。「頭・気・体・手足・お金・時間・労力・素材・材料・原料・子供・乗り物・居留守・弁当」など、何かの目的のために役立たせるのに、特に取り立てていほどの特性のないもの場合は、「使う」を使うのが普通で、「用いる」は使わない。「しごと」を参照。

「用いる」は「ベテラン選手を使うより、特に能力のある新人を用いる方がチームを強化できる・この料理には砂糖より蜂蜜を用いると、おいしさがいっそう引き立ちます・部下の提案を用いて販売ルートを開拓する・彼の新しい実験方法を用いたおかげで、目覚ましい研究成果が出た」など、すべての場合で「使う」に置き換わるが、特に・わざわざ何かに役立たせるためといったニュアンスは、「使う」では表すことができない。「用いる」は文章語的。

「人を使う」は雇用する・言いつけて用をさせるという意味だが、「用いる」に置き換えると、その人の才能を見込んで・認めて特に採用する・登用するという意味に変わる。「お金を使う」では日常の細々した買い物をするか、遊ぶか飲むかして、むだ使い・むだ金を捨てることになるが、「用いる」になると「募金で集めたお金を用いて、被災地へ送る物を買ってそろえる」など、むだにならない使い方にかわる。「いや」「おいしい」を参照。

確かに「使う」に比べて「用いる」の方がその機能をフルに生かして使うイメージがある。しか

し、「材料を用いる」は言えそうな気がするなど、もう少し細かく見る必要がある。そこで本研究では、国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を利用して、「使う」と「用いる」の対象(ヲ格名詞)の違いを調査した。検索ソフトは「中納言」を使用し、検索対象は全データとし、「キー」に「品詞の大分類が[名詞]」、「後方共起 1」に「語彙素読みが[を]」、「後方共起 2」に「語彙素読みが[ツカウ(または「モチイル」)]」を入力して検索した。

その結果、「使う」の対象語は延べ語数で 22,889 語、異なり語数で 5,135 語出現した。このうち上位 60 位まで(61 語)を表2に示す。

表2 BCCWJにおける「使う」の対象語(ヲ格)の出現数上位 60 位まで(件)
(「用いる」との比較)

	対象	使	用		対象	使	用		対象	使	用		
1	気	1,136	0	23	電話	88	26		機械		5		
2	言葉	562	76	24	方法	82	138	46	英語	57	1		
3	もの	449	91	25	材料	79	25	47	野菜	56	2		
4	金(かね)	388	1	26	技術	78	75	48	術	55	20		
5	ソフト	237	6		コンピュータ		26	49	装置	54	49		
6	パソコン	225	3	29	敬語	74	1	50	器具	51	13		
7	機能	210	18		文字		30	50	粉		2		
8	手	209	5	30	人	72	4	52	漢字	50	17		
9	機	135	28		洗剤		2	53	ボール	49	1		
10	頭	134	1	32	火	71	4	54	ことば	47	9		
11	語	133	54		ツール		1		54		油	1	
12	神経	130	1	34	名前	68	2	56	手法	44	66		
13	素材	123	26	35	体	67	16		データ		55		
14	水	121	7		メール		5		56		システム	12	
15	道具	119	14	力	5	56	資金		4				
16	表現	114	58	38	食材	65	5		電気		3		
17	時間	106	8		物		5		56		魔法	0	
18	カード	105	11	41	税金	63	0	/					
19	エネルギー	98	8		手段		67						
20	関数	93	19	用語	43								
	薬		11	43	車	2							
22	インターネット	91	5	44	色	58	7						

表2から分かるように、「気を使う」、「神経を使う」、「頭を使う」、「手(=手段)を使う」のような慣用表現は「用いる」を使わないのが普通である。「神経を用いる」の 1 件は「人口神経を用いる」という広義の道具・材料を表す例であった。この他、「居留守を使う」、「色目を使う」、「上目を使う」などの慣用表現も「用いる」を使わないのが普通である。

また、「水」、「エネルギー」、「火」、「電気」のような水資源やエネルギー資源の消費を表す場合も「使う」を使うのが普通である。「ガス/石油」も同様である。この場合に「用いる」を使うと、「冷却に水を用いる」のようにこれらの資源を広義の手段として捉えていることになる。同じく「(お)金」、「税金」、「資金」など金銭的消費を表す場合も「使う」を使うのが普通で、「用いる」を使うと、「買収に現金を用いる」のように金銭を広義の手段として捉えていることになる。

「言葉/ことば」、「語」、「表現」、「文字」、「用語」、「漢字」など言葉に関する語は、「使う」の方が使用率が高いが、取り立ててそれを活用する場合には「用いる」も使われる。ただし、「敬語」や「英語」のような言語の種類を表す語は「使う」を使うのが普通で、「用いる」を使っても間違いではないが、それぞれ1件しか出現しなかった。

一方、「用いる」の対象語は延べ語数で 5,283 語、異なり語数で 1,908 語出現した。このうち上位 60 位まで(66 語)を表3に示す。

表3 BCCWJにおける「用いる」の対象語(ヲ格)の出現数上位 60 位まで (件)
(「使う」との比較)

	対象	使	用		対象	使	用		対象	使	用
1	方法	82	138		コンピュータ	78			抗体	2	
2	法	35	101	24	材料	79	25		レンズ	41	
3	もの	449	91	25	表	33	24	46	液	33	15
4	言葉	562	76		記号	30		石	30		
5	技術	78	75	27	言語	27	23	49	道具	119	14
6	手段	63	67	28	衛星	36	22	50	器具	51	13
7	手法	44	66	29	術	55	20	51	物質	21	
8	表現	114	58		図	9		52	2	19	
9	データ	44	55	32	指数	2	19	53	量	13	
10	語	133	54		関数	93		54	楽器	12	
11	装置	54	49	34	率	4	18	55	定理	7	
12	用語	63	43		機能	210		56	キック	1	
13	モデル	35	40	37	機器	36	17	57	唱歌	0	
14	式	34	37		結果	4		58	システム	44	
	意	0		漢字	50	文	20				
16	概念	18	36	資料	13	17	具	18			
	細胞	9		基準	5		原理	10			
18	名称	18	40	体	67	16	単位	9			
19	文字	74		名	31		変数	9			
20	機	135	28	数値	12	58	武力	7			
21	方式	16		技法	11		株式	3			
22	素材	123	26	指標	7	58	MRI	1			

表3から分かるように、「用いる」と共起する語はほぼ「使える」とも共起する。ただし、「意を用いる」という慣用表現は「*意を使う」とは言わない。

また、「用いる」と共起しやすい語を見ると、「方法」、「法(=方法)」、「手段」、「手法」のような手段・方法を表す語や、「言葉」、「表現」、「データ」、「語」のような表現手段を表す語が上位にきている。この他、「技術」、「装置」などいずれも広義の手段・方法を表す語である。

以上のことから、同じ対象の使用を表す表現でも、「使う」の対象が広義の道具・材料を表すのに対し、「用いる」の対象は広義の手段・方法を表すという違いがある。

4. 動詞“用”の日本語訳

本節では動詞“用”の日本語訳について、以下の 22 種類の名詞(“用”の対象)ごとに見ていく。これらの名詞はいずれも広義の道具を表している。例文は BCC コーパスの用例を基に適宜見やすく簡略化してある。

1. 道具

例(1)のように“用”の対象が単純な道具の場合は、普通「使う」を使い、「用いる」は使わない。

(1) 我准备开始练习左手用筷子。

→私は左手で箸を{使う/*用いる}練習を始めるつもりだ。

「用いる」は例(2)のように特にその道具を用立てる場合に使う。この場合に「使う」を使うと、特に何かに用立てるという意味が薄くなる。

(2) 画家用色彩，雕塑家用大理石，作家用笔，而同时也都用他们的灵魂。

→画家は色彩を{使い/用い}、彫刻家は大理石を{使い/用い}、作家はペンを{使い/用い}、同時にみな彼らの魂を{使う/用いる}。

2. 材料

例(3)のように“用”の対象が材料の場合は、「使う」も「用いる」も普通に使える。この場合、「用いる」を使うと、特にその材料を用立てるという意味になる。

(3) 蛋糕是用鸡蛋、白糖、小麦粉为主要原料。

→ケーキは卵、砂糖、小麦粉を主な材料として{使う/用いる}。

3. 手段・方法

例(4)のように“用”の対象が手段の場合は、「使う」と「用いる」の他に「講じる」と訳すこともできる。このうち「使う」はニュートラルな意味で、「用いる」を使うと、特にそれを用立てるという意味になる(以下同様)。また、「講じる」を使うと「考えてその手段を使う」という意味になる。

(4) 对蠢人往往没有办法，只能用手段。

→愚かな人に対しては往々にして方法がなく、手段を{使う/用いる/講じる}しかない。

一方、例(5)のように“用”の対象が方法の場合は、「使う」と「用いる」しか使えず、「講じる」では訳せない。

(5) 她问我攒私房钱是用的什么方法。

→彼女は私にへそくりを貯めるのにどのような方法を{使う/用いる/*講じる}か尋ねた。

また、例(6)のように“動詞+法”で方法を表す場合は、「使う」は不自然で「やり方でやる」と言うのが普通である。また、特にその方法を使用する場合は「用いる」を使う。

(6) 一般人不会推销，因为他都用自己的想法。

→普通の人には売りさばくことができない。なぜならば皆自分の考え方{*を使う/用いる/でやる}からである。

4. 表現手段(データ・指標・図など)

例(7)~(9)のように“用”の対象が表現手段(データ・指標・図など)の場合は、「使う」も「用いる」も使える。

(7) 若用11年数据，纳斯达克和纽交所估计都是“ZERO”!

→もし 11 年のデータを{使え/用いれ}ば、ナスダックとニューヨーク証券取引所の見積もりはいずれも「ゼロ」である。

(8) 用这一指标可以表示固定资产的利用效率。

→この指標を{使え/用いれ}ば固定資産の利用効率を表すことができる。

(9) 连杂志的销售量都往往取决于封面是否用了美女图。

→雑誌の消費量は往々にして表紙に美人画を{使う/用いる}かどうかによる。

5. 言葉

例(10)のように“用”の対象が言葉の場合は、「使う」も「用いる」も使える。ただし、普通は「使う」を使い、「用いる」は取り立てて何かのためにその言葉を利用する場合に使う。例えば、例(10)で「用いる」を使うと、中国語話者としてのアイデンティティーを保つための手段として中国語を使用し、相手に合わせるための手段として敢えて外国語を使用するという意味になる。

(10) 在语言方面我们该用汉语时就用汉语，不必屈尊用外语。

→言葉の面で私たちは中国語を{使う/用いる}ときは中国語を{使う/用いる}べきであり、まげて外国語を{使う/用いる}必要はない。

6. 力

“用”の対象が力の場合、普通は例(11)のように「使う」も「用いる」も使える。

(11) 盘龙的这一拳只用了六成力量。

→盤龍のこの一撃は六割の力しか{使わ/用い}なかつた。

また、例(12)のように全身の力を使う場合は、「使う」や「用いる」の他に「振り絞る」も使える。「振り絞る」を使うと全身の力を全て使うという意味になる。

(12) 因为他在第一箭射的时候，他以为是老虎向他扑来，他有生命危险，所以他射去，用了全部的力量。

→彼が最初に矢を射た時、彼は虎が自分に飛びかかって来て、生命の危機にあると思つたため、矢を射るのに、全ての力を{使った/用いた/振り絞った}。

一方、例(13)のように何かに力を注入することを表す場合は、「使う」も「用いる」も使えず、「込める」や「入れる」を使う。

(13) 来吧，抓着我的头发——使劲一点，再用点力。

→来い。私の髪の毛をつかみ——力を込め、さらに力を{*使った/*用いた/込めた/入れた}。

また、例(14)のように握手の場合も「使う」や「用いる」は使えず、「力強く握る」あるいは「握り締める」と言うのが自然である。

(14) 他握住了她的手，用了很大的力量。

→*彼は彼女の手を握るのに、強い力を{使った/用いた}。

→彼は彼女の手を{力強く握った/握り締めた}。

7. 権力・武力

例(15)、例(16)のように“用”の対象が権力や武力の場合は、「使う」や「用いる」の他に「行使する」も使える。「行使する」を使うと、(断固として)実施するという意味になる。

(15) 严格要求各级行领导用权力。

→各レベルの銀行の幹部が権力を{使う/用いる/行使する}ことを厳しく求める。

(16) 我怕他们会对你用武力。

→私は彼らがあなたに武力を{使う/用いる/行使する}のを恐れている。

8. 薬(治療薬)

“用”の対象が薬(治療薬)の場合は、動作主が医師の場合と患者の場合で訳し方が異なる。例(17)のように動作主が医師の場合は「使う」や「用いる」も使えるが、「投与する」や「投薬する」を使った方が専門的なニュアンスが出る。

(17) 在使用抗生素方面，用药3天与用药1周或10天的疗效差别不大。

→抗生物質の使用において、三日間{使う/用いる/投与する/投薬する}のと一週間あるいは十日間{使う/用いる/投与する/投薬する}のとでは治療効果に大差ない。

一方、例(18)のように動作主が患者の場合は、「使う」や「用いる」を使うのは不自然で、「飲む」や「服用する」を使うのが自然である(飲み薬の場合)。その他、塗り薬なら「薬を{塗る/付ける}」、注射なら「薬を{注射する/打つ}」など個別の動詞を使うのが普通である。

(18) “饭后用药”

→「食後に薬を{*使う/*用いる/飲む/服用する}」

9. 人間

例(19)のように“用”の対象が人間の場合、単に人を使用する場合は「使う」を使い、特にその人の能力を評価して使用する場合は「用いる」を使い、その人を高く評価して抜擢する場合は「登用する」や「起用する」を使う。

(19) 因为他的档期有问题，所以我们决定用新人。

→彼のスケジュールに問題があったため、我々は新人を{使う/用いる/登用する/起用する}ことにした。

そのため、例(20)のように人材を登用することを表す場合には「使う」は使えない。

(20) 用新人主要是指启用一些文化素质高的年轻人。

→新人を{*使う/用いる/登用する/起用する}というのは、主に文化的素養の高い若者を起用することを指す。

10. 金銭

例(21)、例(22)のように“用”の対象が金銭の場合は「使う」を使い、「用いる」は使わない。

(21) 我买了一份保险，用了一万多块钱。

→私は保険に入り、一万元あまりを{使った/*用いた/*かけた}。

(22) 用了国家的钱不负回收责任。

→国家のお金を{使って/*用いて/*かけて}回収責任を負わない。

ただし、例(23)、例(24)のように金銭の支払いというよりは費用をかける、費用がかかるという意味を表す場合は、「使う」や「用いる」は不自然で、「かける」または「かかる」を使うのが自然である。

(23) 其实，有许多公益活动未必要用很多钱。

→実際、多くの公益文化活動は必ずしも多額のお金を{?使う/*用いる/かける}必要はない。

(24) 4月3日住院、4月23日出院，总共用了15027元钱。

→4月3日に入院し、4月23日に退院して、全部で15,027元{?使った/*用いた/かかった}。

11. 電気・ガス・水

例(25)のように“用”の対象が電気・ガス・水の場合は「使う」を使い、「用いる」は使わない。

(25) 我家做饭时用瓦斯，而不是用电。(作例)

→我が家ではご飯を作る時、電気ではなくガスを{使って/*用いて}います。

ただし、例(26)～例(28)のように電気・ガス・水の消費ではなく、インフラの使用を表す場合は、「電気を使う(こと)」などでは軽い感じがするため、次のように言うのが普通である。

(26) 现行学校教学和学生生活用电、用水、用气价格低于居民类价格的。

→現在学校での授業や学生生活にかかる電気、水道、ガスの使用料は、一般の住民価格よりも低い。

(27) 村民用电、用水、子女入学全部免费。

→村民は電気(料金)、水道(料金)、子供の入学料がすべて無料です。

(28) 在征租土地、用水、用电、传递信息等方面实行配套扶持服务。

→土地の賃貸、水利用、電力供給、情報伝達などの面において関連支援サービスを提

供している。

12. 時間

例(29)のように“用”の対象が時間の場合は「使う」を使い、「用いる」は使わない。

(29) 持卡人所有的消费都要刷卡，不用金钱而用时间。

→カードを持っている人はあらゆる消費にカードを使い、現金を使わず(有効に)時間を
{使う/*用いる/*かける}のである。

ただし、例(30)、例(31)のように所要時間を表す場合は、「使う」や「用いる」は不自然で、「かける」または「かかる」を使うのが自然である。

(30) 人生的价值，并不是用时间，而是用深度去衡量的。

→人生の価値は、決してどれだけ時間を{[?]使う/*用いる/かける}かにあるのではなく、
いかに深く考えるかにある。

(31) 王红以 10 公里每小时的速度走路，走 50 公里要用几个小时？

→王紅は一時間に 10 キロの速さで走ります。50 キロ走るには何時間{*使う/*用いる/
かかる}でしょうか。

13. 場所

例(32)のように“用”の対象が場所の場合は「使う」を使い、「用いる」は使わない。

(32) 书房很大，又清静，为了方便蔚甄教学，冯明珠说明蔚甄可以随时用书房。

→書齋は広くて静かで、蔚甄の教学に便利のように、冯明珠は蔚甄がいつでも書齋を
{使って/*用いて}よいと言った。

14. 頭

例(33)、例(34)のように“用”の対象が頭の場合は「使う」を使い、「用いる」は使わない。

(33) 从小我养成了用脑筋的习惯。

→子供の頃から私は頭を{使う/*用いる}習慣を養ってきた。

(34) 你以手多做事少说话，多出力少用脑筋！

→あなたは口ばかりでなくもっと手を動かし、頭を{使う/*用いる}だけでなくもっと体を動かすことだ！

15 魔法

例(35)のように“用”の対象が魔法の場合は「使う」を使い、「用いる」は使わない。

(35) 你怎么能用魔法呢。

→あなたはなぜ魔法を{使う/*用いる}ことができるのですか。

16. 手術

例(36)のように“用”の対象が手術の場合は、「使う」も「用いる」も使えず、「する」または「受ける」を使う。患者の立場からは「手術をする」とも「手術を受ける」とも言い、医師の立場からは「手術をする」と言う。

(36) 我儿子现在是已经不可能吃中药治好必须得用手术。

→私の息子は今はもう漢方薬を飲んでも治らず、手術を{*使う/*用いる/する/受ける}必要がある。

17. 判子

例(37)のように“用”の対象が判子の場合は「使う」も「用いる」も使わず、「押印する」または「捺印する」を使う。

(37) 老师用印，绝不假手他人，

→先生は{*判子を使う/*判子を用いる/押印する/捺印する}際に、絶対に他人の手を借りない。

18. 行動・態度

例(38)～例(40)のように“用”の対象が行動や態度の場合は、「使う」や「用いる」は使えず、

「取る」または「に出る」を使うのが自然である。「{行動/態度}を取る」は単にある行動や態度を行うことを表すのに対し、「{行動/態度}に出る」は意を決してある行動や態度を実行することを表す。そのため、例(40)のように単に相手に対してある態度を示すことを表す場合には「態度を取る」を使い、「態度に出る」は使えない。

(38) 他在担心她的健康，妮可认为言语无法解除他的忧虑，必须用行动。

→彼は彼女の健康を心配しており、ニコルは言葉では彼の憂慮を取り除くことはできず、
行動{*を使う/*を用いる/を取る/に出る}しかないと思った。

(39) 如果和竞争对手同在一起吃饭，聊天，我要用什么态度。

→もし競争相手と一緒に食事し、話をするとしたら、私はどのような態度{*を使う/*を用いる/を取る/に出る}のがいいか。

(40) 我不是她未婚夫又不是她家佣人，对佣人也不应该用这种态度。

→私は彼女の婚約者でもないし彼女の家の使用人でもない。使用人に対してもこのような態度{*を使う/*を用いる/を取る/*に出る}べきではない。

19. 努力

例(41)のように“用”の対象が努力の場合は、「使う」や「用いる」は使えず、「努力をする」と訳すのが自然である。

(41) 人生最大之报偿在善用自己的努力。

→人生最大の報償はよく自己の努力を{*使う/*用いる/する}ことにある。

20. 心

例(42)、例(43)のように“用”の対象が心の場合は、「使う」や「用いる」は使えず、文脈に応じて「心を配る」、「気を配る」、「気を遣う」、「気を付ける」、「注意する」などと訳す。

(42) 干什么，用心用心一定要用心!

→何をするにしても、必ず{心を配る/気を配る/気を遣う/気を付ける/注意する}べきだ。

(43) 一定要先做“五心人”，即出车要细心、上车要专心、开车要用心、服务要热心、待客要虚心。

→必ずまず「五心人」になるべきである。つまり車を出す時は細心に、車に乗り込む時は専念し、車を運転する時は{*心を配り/*気を配り/*気を遣い/気を付け/注意し}、勤務は熱心に、お客様に対しては虚心であるべきである。

また、例(44)のように“用心”全体で名詞になる場合は「心配り」、「気配り」、「心遣い」、「気遣い」などと訳す。

(44) 谢谢你的用心, 带给我真心的温暖。

→あなたの{*心配り/気配り/心遣い/気遣い}に感謝します。私に真心からの暖かさをくれて。

21. 命(いのち)

例(45)～例(48)のように“用”の対象が命の場合は「使う」も「用いる」も使わず、「命を懸ける」または「命を捧(ささ)げる」を使う。「命を懸ける」は自分の生命を賭して何かをする場合に使い、「命を捧げる」は他人のために自分の命を犠牲にする場合に使う。

(45) 将士用命, 协力同心, 就把敌人打败了。

→将兵は命を{*使って/*用いて/懸けて/*捧げて}、一致協力して敵を打ち負かした。

(46) 这些钱是我丈夫用命换来的! (このような介詞用法が多い)

→このお金は、夫が命を{*使って/*用いて/懸けて/*捧げて}引き換えたものだ。

(47) 张耽性勇锐, 而善抚士卒, 军中皆为用命。

→張耽は勇敢で、部下を大事にするので、軍隊では皆が彼に命を{*使う/*用いる/*懸ける/捧げる}。

(48) 朋友用心交, 父母用命孝。(このような介詞用法が多い)

→友達とは心を込めて交わり、父母には命を{*使って/*用いて/*懸けて/捧げて}孝行すべきだ。

22. トイレ

次に“用”の対象がトイレやバスルームの場合について見る。例(49)、例(50)のようにその場所の使用に着目する場合は「使う」を使い、「用いる」は使えない。

(49) 住戸没水喝，没水做饭，不能用洗手间。

→(断水で)家には飲み水がなくなり、炊事用の水がなくなり、トイレが{使えなく/*用いら
れなく}なった。

(50) “如果你要用洗手间，我让你先用。”

→「もしバスルームを{使い/*用い}たいなら、お先にどうぞ。」

一方、例(51)のように用便に着目する場合は、「使う」も「用いる」も使えず、「トイレに行く」または「トイレに入る」を使う。ただし、例(52)のようにトイレが近くにない場合は「トイレに入る」は不自然で、「トイレに行く」と言った方が自然である。

(51) 便秘的年轻人为了赶时间，特地起个大早用洗手间，但每一次少说也有半小时。

→便秘の若い人は時間に間に合うように、特に早く起きてトイレ{*を使う/*を用いる/に
行く/に入る}。

(52) 一对夫妇驾车旅途中在一家乡下餐厅停了下来。妻子想用卫生间。

→ある夫婦が車で旅行している途中、田舎の食堂で止まった。妻がトイレ{*を使い/*を
用い/に行き/?に入り}たがったのである。

また、例(53)のように場所の使用とも用便とも捉えられる場合は、「使う」、「行く」、「入る」のいずれも使える。

(53) 到了波曼才中午时分，我只租了一间房间，大家轮流用洗手间。

→ポーマンに着いたのはやっとお昼であった。私は部屋を借り、皆交替で洗面所{を使
い/*を用い/に行き/に入り}。

5. 相手の所有物を借りる場合

次に相手の所有物を借りる場合について見る。例(54)、例(55)のように聞き手のトイレを使う場合は、「借りる」または「貸してもらう」を使うのが適当である。「使う」も使えるが、ぞんざいな感じがするため、「借りる」や「貸してもらう」を使った方が丁寧で大人びた言い方になる。

(54) 我要用一下你的洗澡间。

→お宅のトイレを{使い/*用い/借り/貸していただき}たいのですが。

(55) 马伯伯，麻烦你帮我叫一辆出租车，还有化妆室借我用一下。

→馬おじさん、すみませがタクシーを一台呼んでくれませんか、それからトイレを{使わ
せて/*用いさせて/*借りさせ/貸して}下さい。

同様に、例(56)、例(57)のように相手の電話を使わせてもらう場合も、「借りる」または「貸しても
らう」を使ったほうが丁寧な言い方になる。一方、自分の電話を相手に使ってもらう場合は、例
(58)のように「使う」を使い、「用いる」や「借りる」は使わない。

(56) “我可以用你的电话吗?” (電話)

→「お宅の電話を{使って/*用いて/借りて/貸していただいて}もいいでしょうか？」

(57) “我可以用一下你的电话吗?” (電話)

→「お宅の電話を{*お使い/*お用い/お借り}してもいいでしょうか？」

(58) 愿意的话你可以用卧室的电话。(電話)

→宜しければ寢室の電話を{使って/*用いて/*借りて}ください。

→宜しければ寢室の電話を{お使い/*お用い/*お借り}ください。

その他、例(59)、例(60)のように、一般に相手の所有物を使わせてもらう場合は、「使う」も使え
るが、「借りる」または「貸してもらう」を使ったほうが丁寧な言い方になる。

(59) 我能用一下你的手绢吗?

→あなたのハンカチを{使って/*用いて/借りて/貸してもらって}もいい?

(60) “厨房借我用一下，我弄杯东西给你喝。”

→「台所を{使わせて/*用いさせて/*借りさせて/貸して}下さい。何か飲み物を作って
飲ませてあげます。」

6. “用餐”，“用茶”などの場合

最後に例(61)～(64)の“用餐”、“用茶”などの場合について見る。この場合は「使う」も「用いる」も使えず、動作主の人称、敬意の度合い、対象の違いによって、「いただく」、「召し上がる」、「食事をする」「飲む」などと訳す。

(61) “我想用茶点了。”

→「私はお茶をいただきたい。」

(62) “现在大家请用餐吧!”

→「さあ、皆様お召し上がりください!」

(63) 他们在厨房靠近炉火的地方用餐。

→彼らは台所で火の近くで食事をする。

(64) 在“开夜车”时用烟、浓茶、浓咖啡提神;

→「徹夜」をする時にタバコ、濃いお茶、濃いコーヒーを飲んで眠気を覚ます

7. まとめ

以上、本稿では中国語の動詞“用”の日本語訳について考察し、“用”に後接する名詞の違いによって「使う」や「用いる」の他、様々な訳し方があることを指摘した。

[参考文献]

小学館辞典編集部(1994)『使い方の分かる類語例解辞典』、小学館

商務印書館・小学館(編)(2003)『中日辞典』(第2版)、小学館

杉村泰(2024)「「用」の日本語訳について」、『中日日中初中級文法・語彙の対照研究』1、日
中言語文化出版社

田忠魁・泉原省二・金相順(1998)『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する類義語使
い分け辞典』、研究社出版

林巨樹(監修)(1993)『現代国語例解辞典』(第二版)、小学館

呂叔湘(主編)、牛島徳次・菱沼透(監訳)(1992)『中国語文法用例辞典—《現代漢語八百詞
増訂本》日本語版』、東方書店